

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市国見児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》18,596人（前年度比 106,3 %） 平成30年度 17,491人 平成29年度 16,923人 平成28年度 17,390人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 （ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 23,784千円 （ 26,075千円） ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 0千円 （ 0千円）
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供、外国人が多い地域性を踏まえた翻訳機器の用意等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子どもの意見を大切にし、子ども会議を設けて子ども達自身が生活や遊びのルールを決めるよう支援するなど、自主性や協調性を育てている。また、思いやりの心をもって子ども同士が関われるよう、話し合いの中に友達の「良かった探し」を取り入れている。その他、小学生向け事業として、地域講師によるプライムテニスやお茶の教室、近隣の大学生ボランティアとのスポーツ遊びなど、積極的に地域人材を活用して事業の充実に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>地域の方々との繋がりと子どもたちの主体性を大切にし、児童館がみんなの居場所となるように取り組みました。</p> <p>○子育て家庭支援事業 季節や年齢に合わせた行事を取り入れ、乳幼児親子が気軽に児童館に遊びに来られるよう取り組みました。また、今年度は海外国籍の乳幼児親子への子育て支援と乳幼児期から英語に触れることを目的として「英語で遊ぼう」を実施し、保護者間の交流や情報交換の場となっています。</p> <p>○児童健全育成事業 地域の方々との交流を大切に「七夕作り」や「エコエコ工作」等様々な行事を実施し、子どもを見守る目を増やすことができました。また、今年度も子どもの参画を主軸に置き、「館まつり」では子どもスタッフが企画から当日の進行まで積極的に取り組む姿が見られました。</p> <p>○放課後児童健全育成事業 様々な遊びや生活のルールは子どもたちで話し合いで決め、子どもたちの自主性を培うとともにルールの「見える化」を行い、一人ひとりが楽しく生活できるよう子ども目線に立って児童クラブを運営しました。「まるごと児童館」では、ダンスクラブ2グループがステージ発表を行いました。</p> <p>○地域交流推進事業 今年度も地域行事や会議に参加し情報交換に努め、地域との連携に努めました。また、地域主催「こども食堂」の運営にも積極的に参加し、地域の方と大学生と子どもたちを繋ぐよう取り組みました。地域懇談会では事業報告等を行うことで児童館事業の発信をすることができました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>乳幼児親子向け事業では、登録制幼児クラブをはじめ、ベビーマッサージ、リトミック、運動遊び、絵本の読み聞かせやふれあい遊びなど、利用者のニーズを踏まえながら様々な活動を定例行事として実施している。また、子育て支援クラブとの共催行事では、リース作りなどの季節にちなんだ行事や、パン作りやクッキングなどを開催し、協力関係を深めながら多彩な活動を通して子育て家庭支援に努めている。</p> <p>小学生向け事業では、地域先生による「プライムテニス教室」や「お茶教室」、近隣の大学生ボランティアと一緒に運動遊びを楽しむ「ちょいスポ」など、地域人材との交流から協力・連携を深め、地域全体で子どもの育ちを支える環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>地域交流推進事業の一環として、町内会や東北福祉大学とともに子ども食堂「ほっと☆くにみ」の企画運営に関わり、地域交流を深めているほか、児童クラブの子ども達と一緒に月に一度参加することにより、児童クラブの子ども達が児童クラブに登録していない地域の子どもの交流を広げる機会を提供している。</p> <p>留学生が多いという地域特性を踏まえ、児童クラブ通信や児童館だよりの英語版を作成し配布するとともに、児童館主催行事の中でも、通訳の方を招いて「英語であそぼう」を開催し、外国籍の方々にも積極的に児童館を利用してもらおう努めており、その結果、外国人利用者の増加につながっている点が評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課